米作り日本一の記録

――反當り６石７斗６升４合――

昭和三十年度米の稲作収穫高は平年収量を遥に一、二三〇万石を上廻る七、九〇三万石という空前の大豊作を示した。それと同時に昭和三十年度の米作の日本一も富山県魚津市の上楽光氏が、反当り收量六石七斗六升四合という驚異的な記録を出して、みごと農林大臣賞を獲得した。

この記録がいかに高い記録であるかは、わが国の米作の平年平均反当り収量が二石二斗前後である点を考えれば自から了解されるであろう。以下米作り日本一賞を得た上楽光氏の稲作について述べてみよう。

上楽氏の稲作

上楽氏は当年三十八歳家族は夫婦に子供一人の五人家族で、田一町一反二畝、畑四反一畝を耕作しているが、同地帯の経営規模に比較すればかなり大きい。このほか昭和二十三年ごろより和牛の飼育を行い年々二〜三頭を飼育しているが、飼料は畑作および稲作によって完全に自給している。

同田が六石七斗六升四合の大記録を樹立したことは土壌条件がよかったこともちろん大きな原因ではあるが、積極的に耕土改善と地力の増進をはかったこと、品種の適切な選択の改善などがきわめて科学的であったことによるものである。以下これらの点について紹介しよう。

☆土壌条件

出品田は北陸本線魚津駅の南方約三キロ、魚津市内を貫流する角川左岸の扇状地にある。

このため従来出水のたびに河川を越えて表土が流入し自然寄せ土が行われるので、土層はかなり厚く、しかも均質となっている。しかし扇状地にあるため前記の丘陵地からの伏流水の影響を受け出品田は従来湿田であった。これを昭和八年暗渠排水して乾田にしたものであるが、含有養分の多いしかも附近の河川に比較して水温の高い角川の水を自由に利用し得る有利な条件の水田である。

☆耕種のあらまし

（品種）品種は、昭和二十九年度日本一賞を得た川原宗市氏が用いた金南風を、わざわざ愛知県農業試験場稲作試験地から取り寄せた。この品種はもともと愛知県農業試験場で育成されたもので富山県においては晩熟生種に属するが、保温折衷苗代の普及によって近年急速に増えつつある品種である。この品種はいもち病耐病性が極めて強く、多肥に耐え、稈が強く倒伏し難く、しかも穂数が増加しても比較的稔実が減少しないなど多収品種である。

昭和二十八年以来の北陸ブロックではすべてこの金南風であり、昭和三十年度の富山県の一位から五位までがすべて金南風である点から、この品種がきわめて優秀な多収品種であることがわかる。

（育苗）四月八日から十五日まで八日間池浸しした種籾をウスプルン千倍液で消毒し、苗代坪当り播種約一合二勺の割合で四月十五日保温折衷苗代に播種した。

先にも述べたように、金南風は晩熟生種であるため、成熟期を促進する必要があり、このためには保温折衷苗代で育苗することが絶体的な条件である。

苗代肥料は坪当り硫安八十五匁（うち十五匁は五月十二日に追肥）過燐酸石灰百匁、塩化加里三十五匁、草木灰百匁（五月九日に追肥）である。

苗代の除草は五月二日で、五月四日と十三日の二回に間引きと除草を行った。

また病虫害の防除は、五月八日にはいもち病、キリウジ、ユリミミズ防除のためBHC加用大豆式ボルドー液を、五月十五日には苗いもち病、メイ虫、キリウジ、カラバエ防除のためホリドール乳剤水銀ボルドー液を撒布した。

また灌排水は油紙をかけている間は補給灌のみに灌水し、除紙後四日間は、夜間二寸程度に湛水、昼間は大分程度に保ち、その後はつとめて湛水に保った。

田植当時の苗は草丈二〇、一センチ、分けつ三、四本で葉齢一の良苗であった。

（本田の整地）四月十三日には堆肥と石灰窒素を撒布し、翌日二段耕犂を用いて、五寸の深さに耕起し約二十日間乾燥、五月二十日に基肥を施して荒代掻を行い、翌日植代掻を行った。

（本田の肥料）本田の肥料は堆肥三百貫、石灰窒素六貫、塩安十三貫溶性燐肥十一貫、塩化加里十貫、塩硝安四十貫（七月十九日追肥）で、その成分量は窒素五貫九百五十匁、燐酸一貫三百十匁、加里七貫百匁となっている。

このうち堆肥は全面施肥で、本田に移すまでに三回切返し稲作を行いすっかり腐熟したものを用いた。出品田は砂の多い老朽化水田ではないが、堆厩肥の施用は土壌の理化学性を改良する意味からきわめて有効であり、燐酸根肥料の施用は地温が上昇して土壌窒素が過剰する場合などを考えれば合理的な施肥であったといえよう。

（田植）田植は五月二十二日（苗代日数三十八日）に南北一尺二寸、東西五寸の並木植を行った坪当り株数六十株、一株二本植し、根付の深さは七分の程度にした。

この並木植の採用は稲苗分けつの期待と揃れ稲の発生を防ぎ、有効穂数を増加するとともに稔熟をよくし一穂平均粒数の増加に役立っている。また稲垣も前期生育の促進に役立っている。

（灌排水の管理）出品田は水質の良好な比較的水温の高い角川用水と水温の冷たい湧水灌漑水とを自由に利用できる有利な条件にあるが上楽氏は北陸農業試験場や前年度日本一賞を得た川原宗市氏の稲田を見学すると共にその指導を検討し、かなり手のこんだ灌排水管理を行っている。

この稲作田の減水深は一日約一寸であるが、このように比較的温い角川用水と冷たい湧水を合理的に操作したことは地温上昇の面の貢献と害を防止するのに役立っている。

また稲葉に行った中干もきわめて有効で、これらが相俟って根群の活動並びに茎葉を健全にし、養分の吸收に平衡を保ち、生育を促進すると共に健全にし、倒伏を防ぐ多收穫を良好にしたものと考えられる。

（中耕除草）上楽氏は鄰九寸五分、爪の深さ五寸の特別の除草機を試作しこの回転除草機によって五月二十七日、六月四日、十日、二十四日の四回中耕除草を行った。六月二十四日にはさらに止草として手取除草も行っている。その方法は湛水した後に行い一層後に再び灌水している。除草の時期は付近の農家にくらべ一番除草は約一週間、止草は約三週間早く終っている。

（病虫害の防除）多收穫を上げるためには病虫害の早期発見と適期防除は絶対不可欠の条件であるが、上楽氏は部落の共同防除のほか個人防除も行っている。

◆四つの共通点◆

従来の日本一賞をも含めて共通的に次のことがいえる。

第一に土壌改良と地力の増強が多收穫技術の基調であるということである。暗渠排水、さらに天地返し等の土壌改良を積極的に行うと共に、例外なく客土の導入による地層の増進をはかり、これによって地力の維持増強をはかっている。

第二に品種の選択がきわめて慎重でしかも合理的である。耐病性の強い肥料の多肥多收型の品種が多く採用せられている。

土地環境に適応しない品種が収率を上げ得ないことは申すまでもない。

第三に耕種法がきわめて科学的である。いずれを見ても何々式農法というような特殊な型の農法によって多收穫を得ている例は見られない。環境に合った品種を選びその品種の生理的あるいは生態的な特性を十分伸ばすような耕種法がとられている。

上楽氏の場合晩熟生種である金南風の生育を促進するため保温折衷苗代を採用し、堆肥を控えて基肥を控えて追肥とし、さらに並木植の密植を行ったなどはこの端的といえよう。

稲作技術というのは品種の選択播種から刈取までが一連のものであって鎖のようなものである。どの部分が欠けても、お互や多收を望むことは不可能であるということはこれらの優秀者の技術が如実に物語っているところである。

〃曝涼〃　バクリヨウと読む。正倉院等の宝庫にある宝物の虫干、通風、点検などを行うことをいう。

〃映画審議会〃　この審議会は伝えられるような規制のための機関でも検閲のための機関でもなく勿論ない「映画に関する基本的施策について、内閣総理大臣の諮問に応じ調査審議するために」内閣に設置されたものであって、映画のもつ経済的教養的な効用、あるいは国民保健衛生的意義の重大さに鑑み映画の質的な向上と映画事業の健全な発展を図るため色々の問題を研究して総理大臣に答申するのがその目的である。

税務の話

地方税法改正

現在国会で審議中の地方税法の一部改正案で直接本町に関係のあるものは大体次のようなことである。

一、市町村税として新しく都市計画税が創設される予定。

一、都市計画区域として決定された区域の全部又は一部の区域で市町村条例で定めた内に所在する土地及び家屋に課するものである。土地及び家屋の固定資産税の課税標準となるべき価格総額で税率は百分の〇、二をこえないもの。

賦課方法は固定資産税とあわせて徴収する。

この税金はすべて土地区画整理事業に要する費用に充てられる。

外に国有資産等所在市町村交付金及び納付金に関する法律案が同時に審議中で日本専売公社日本国有鉄道日本電信電話公社等固定資産につきその固定資産所在の市町村に対し交付金を交付する制度で本町も多少の交付金がある予定である。

病人の多い国

日本人の寿命は平均にのびて、あと一息で欧米の長命国においつくまでになったことは大変うれしいことであるが、長命することがみんな健康になったかというとそうでもない様である。厚生省の調査によると三十年度日本人一人が一年間にわたって病気になったりケガをしておることになり寿命が伸びたと同じに病気件数は戦前に較べ三倍の増となり、病気にかかっている日数も二倍にのびていることがわかり、従って医師の診療を受ける回数も非常に多くなってきたことになる。

要するに日本人は、なかなか死なくなったかわりによく病気をするというわけにもなり、いま健康保険法の改正でもんでいる日本は世界最高の病人国といわれ日本の不健康さを示すものがたっている。

このように多くの病人を出さないようにするには全国民が先ず年一回の健康診断と予防注射によって事前に、その病気を知って治療し予防することが健康で長命することである。

自衛官の任務と行動

・・・・●本年度の募集●・・・・

昭和二十五年八月「わが国の平和と秩序を維持し、公共の福祉を保障するのに必要な限度内で、国家警察及び自治体警察の警察力を補う」ために警察予備隊が生まれ、ついで昭和二十七年海上警備隊ができこれと統合して、「わが国の平和と秩序を維持し、人命および財産を保護するため、特別の必要がある場合に行動する」任務が与へられ保安隊としてその編成および装備が整備された。

その後内外の情勢に対応して自主独立の防衛態勢を確立するためさらに直接侵略に対してわが国を防衛することを任務とする実力部隊が設けられることとなり、二十九年七月自衛隊法が施行され、陸上自衛隊、海上自衛隊と新たに航空自衛隊が創設され防衛庁の発足を見るに至り、与へられた使命達成に努力を続けている。

この自衛隊の任務については自衛隊法第三条に次のように規定されている。即ち「自衛隊はわが国の平和と独立を守り国の安全を保つため、直接侵略および間接侵略に対し、わが国を防衛することを主たる任務とし、必要に応じ公共の秩序の維持に当るものとする」とあり、治安維持上必要があれば警察力を補うため出動したり、天災地変その他の災害に対して必要があれば部隊等を派遣し、あるいは海上警備その他危険物の除去処理、その他外国航空機の不法侵入したときこれに対処することを任務とする。

自衛隊は平時にあっては以上のための準備および訓練を行い、またその訓練の一環として土木工事等の実務を行うことができることになっている。自衛隊がその任務遂行のため行う各種の行動については、いずれも定められた命令によって行動し活動することとなっている。

☆募　集☆

自衛官の募集は階級に応じて、幹部、幹部候補生、陸海空曹、陸海空士ごとにそれぞれ区分として全国から公募されている。この他に退職した自衛官を対象とした予備自衛官の募集も行われている。

この自衛官募集人員と応募人員の比は年々増加をみている状況にあり、市町村役場で総ての手続をすることとなっており、本年も次のように募集予定がされている。

昭和三十一年募集予定

四月頃　第一次
六月頃　第二次　｝陸二士募集
八月頃　第三次
十月頃　第四次
十月頃　陸上幹部候補生募集
〃　陸上衛生幹部候補生
〃　一般陸曹（短大卒）募集
五月頃　陸上生徒（三士）募集
四月　七月頃　陸上婦人自衛官募集
〃　貸費学生募集
十二月頃　看護学院生〃
随時募集　医官
九月頃　防衛大学生　｝募集
新卒技官

四月頃　第一次
六月頃　第二次　｝海二士募集
八月頃　第三次
四、十月頃　海上幹部候補生
十月頃　海上生徒（三士）募集

四月頃　第一次
六月頃　第二次　｝航二士募集
八月頃　第三次
十月頃　第四次
〃　特別操縦学生募集
〃　航空幹部候補生募集
十月頃　航空生徒（三士）募集

☆自衛隊では各部隊の作業その他隊内見学等を希望するときは、所定の手続を市町村役場を経て、多数来場されることを望んでいる。

もり上げたい青年団

向日町青年団長　橋本　弘

向日町広報を発刊せらるるに当り青年団として紙上の一欄に出して頂くことを私として嬉しく感謝する次第である。

現在吾が向日町青年団では、その団員が僅か二百三十名位の少数であり近年諸団体の割合に入団者が少なく年々その団員が自然消滅するかと思われる現状である。これは向日町の人口一万余人から見れば余りにも少なくかなしむべきことである。青年としてこの地域にある任意的な団体に入っても入らなくても別に何等いわれる筋合でもなく、今く自由の社の中なのでもあるがたいした事業も娯楽もない只大勢若いものが集って雑談ばかりの青年団のように、今日では思っている人すら多いように感じられている向きもある。

然し青年団には色々の年中行事があり事業も行っている。その他青年学級や修養に或は娯楽、体育と数々事業を行って来ている。日青協、京青連、山城連青、乙青連とその地域社会のつながりが広く組織も亦広くなっている。

こういった問題について今回青年団として町民方々にお願いを頼みいうちとけて話し合い青年団、青年学級についての実状を痛感して皆さまの協力と援助を得て、より良き向日町青年団として盛り上げ一人でも多くその青年学級に出席し、働きつつその社会文化向上に努めていただきその発展に寄与することができ得るならば、私としてこれ以上の喜びはありません。

どうか町民の方々もこの今日の青年団の在り方を御認識下さると共に一層の御協力御支援を賜りたいと存ずる次第です。

◇向日町青年団役員◇

団長　橋本　弘（鶏冠井）
副団長　永井　清（上植野）
〃　中沢　渚（物集女）
〃　岩崎千代栄（森本）
〃　木村利勝（鶏冠井）
庶務会計　清水　明（森本）
〃　春田　静子（物集女）
文化部長　五十棲義雄（鶏冠井）
〃　安田　信子（森本）
体育部長　中小路　一（上植野）
〃　永井　貞子（〃）
社会部長　長谷川鉄次郎（寺戸）
〃　富田　富子（物集女）

× × × ×

金融公庫で住宅を

住宅金融公庫資金の利用については既に皆さんも新聞やラジオ等のあらゆる報道機関によって御存知のことと思われるが国民が健康で文化的な生活を営むためには、衛生環境のよい土地を選び自己資金で住宅を建てることがもっとも理想とされるところで自己資金が充分でないため住宅が建てられないかたに住宅建設資金の一部を貸付ける方法で誰でも容易に住宅が建てることができる。この資金の利用は如何でしょう。

どういう人が住宅資金を借りることができるかといえば

1　現在住宅に困っている人（例えば同居、間借、分家、その他）

2　月收が元利償還のため当初の月賦金の六倍以上あって確実の見込のある人

3　元利金の償還について確実な保証人がある人。

借入の申込み時期とか申込みについては次の申込先にお問合せをして下さい。

尚貸付けの範囲についての借入金は、その建築費の八〇%で自己資金が二〇%で建築ができ、借入金は相当長い年間月賦元利償還することになっている。

借入申込先

京都銀行三条支店
京都銀行　本店
大和銀行京都支店
勧業銀行京都支店

職業補導所とは

「藝は身を助く」

藝は身を助くという手に職をつけていないと就職するにも、なかなかむつかしいしボヤボヤしているとニコヨンに転落してしまう。そこでなんとか技能をつけさせていい職業につかせようとするのがこの職業補導所である。

この職業補導所は一般公共職業補導所、身体障害者公共職業補導所、総合職業補導所の三種類があり、ここで教えるものは機械、自動車整備、府?、電工、旋盤、仕上げ等から地方特殊産業である木工、製紙、織布、縫製等にいたるまで多種多様で訓練期間は大体六ケ月から一ケ年のものであって、期間中は授業料はもちろん訓練に必要な教材費まで一切無料、費用といえば生活費と交通費だけ入所資格は義務教育を終えたものなら男女を問わない。又修了者には就職あっせんまで行ってその就職状況は良く殆んど完全就職ができ、なかなか評判がよいので最近は入所希望者が定員の三倍以上に達しているそうである。

× × × ×

毎日「火の用心」ができているでしょうか

向日町消防団